

◆ 今週のコメント

- ・ 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が1例(60歳代男性)あり、本年の累積報告数は74例となっています。京都市では、「高齢者用肺炎球菌ワクチン」を定期接種として実施しています。詳しい情報については、下記URLをご参照ください。
○高齢者肺炎球菌ワクチンの定期的予防接種について(保健医療課ホームページ)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000171591.html>
- ・ カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が2例(70歳代女性2例)あり、本年の累積報告数は28例となっています。
- ・ インフルエンザの京都市の定点当たり報告数は1.91(132例)で、前週1.46(101例)よりも増加しました。京都市は12月7日、流行の指標となる「1」を超えたことから、インフルエンザの流行レベル入りをお知らせしました。広報資料及びインフルエンザ予防対策については、下記URLをご参照ください。
○京都市域においてインフルエンザが流行レベルに入りました！(保健医療課ホームページ)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000212109.html>

◆ 今週のトピックス:<感染性胃腸炎>

- ・ 京都市における感染性胃腸炎の定点当たり報告数は14.52(610例)となり、前週(16.55(695例))から減少したものの、依然として過去5年平均を大幅に上回る状況が続いています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類:結核 11例(肺結核 5例, その他結核 3例, 潜在性結核感染者 3例)うち喀痰塗抹陽性 2例
【1月以降の累積報告数 323例(肺結核 170例, その他結核 74例, 潜在性結核感染者 79例)うち喀痰塗抹陽性 81例】
- ・ 五類:カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 2例【1月以降の累積報告数 28例】
- ・ 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 74例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点42, 眼科定点10, 基幹定点1)

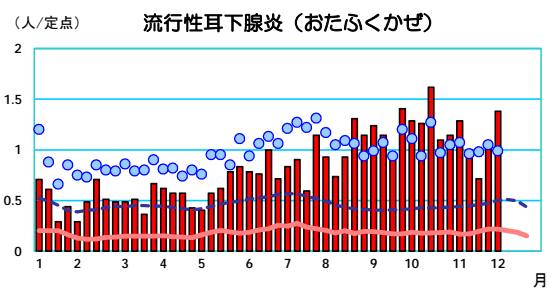
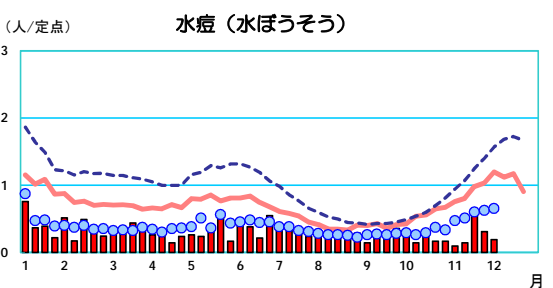
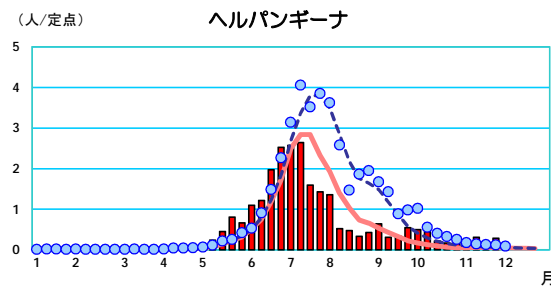
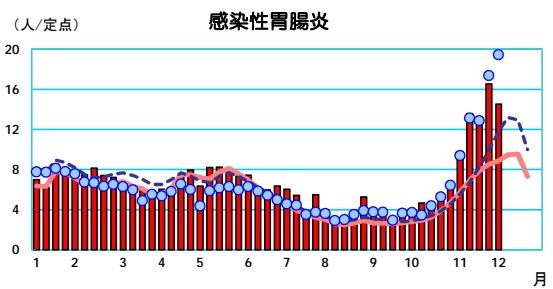
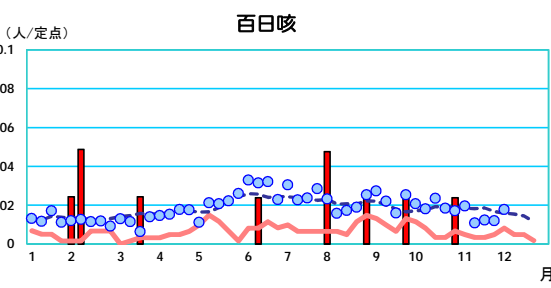
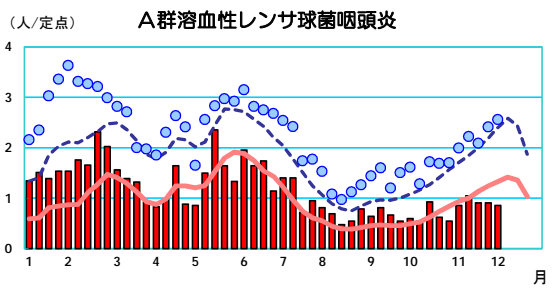
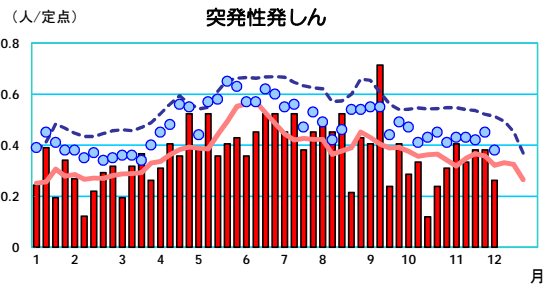
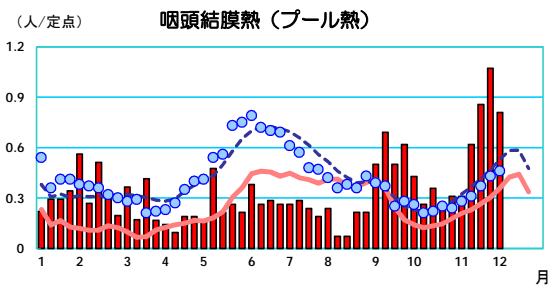
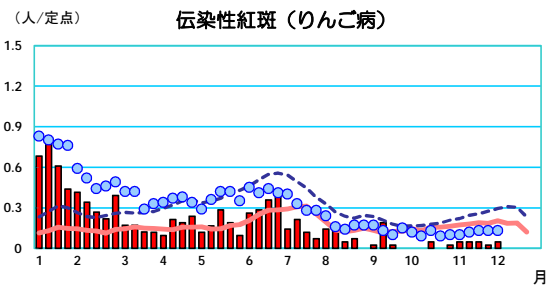
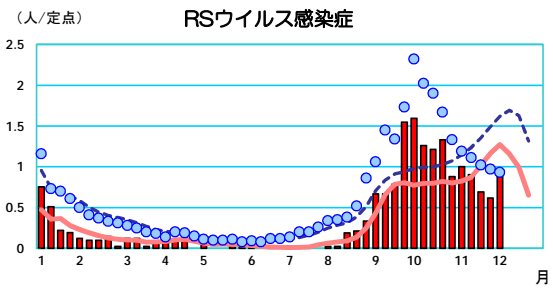
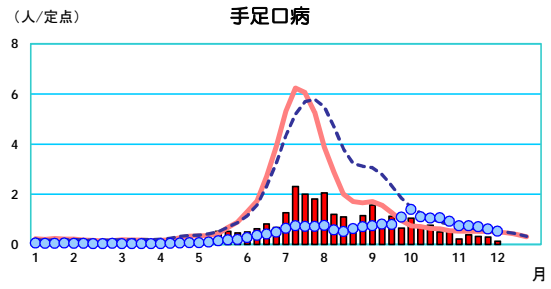
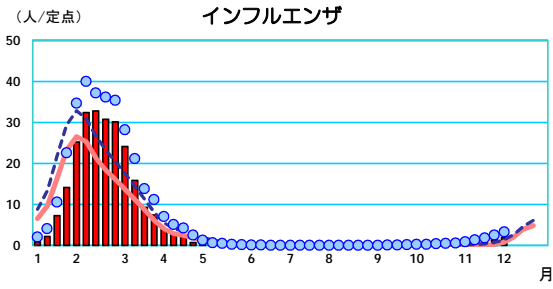
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	1.91	132
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	14.52	610
	② 流行性耳下腺炎	1.38	58
	③ RSウイルス感染症	0.95	40
	④ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.86	36
	⑤ 咽頭結膜熱	0.81	34
眼科	流行性角結膜炎	0.30	3

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:<感染性胃腸炎>
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは、平成28年12月15日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成28年）



第49週(12月5日～12月11日)トピックス: <感染性胃腸炎>

京都市及び全国の発生動向

京都市における感染性胃腸炎の定点当たり報告数は14.52(610例)となり、前週(16.55(695例))から減少したものの、依然として過去5年平均を大幅に上回る状況が続いています(図1)。年齢階級別で見ると、1～2歳の報告が多く、5歳以下の報告で約半数を占めています(図2)。

全国の定点当たり報告数は19.45となり、前週(17.37)からさらに増加し、警報レベルの開始基準値である「20」に迫る勢いです。都道府県別では、今週新たに富山県、福井県、静岡県、愛知県の4県で「20」を超え、前週までに超えていた都県と合わせ、すでに1都14県において警報レベルで推移しています(図3)。

症状及び予防

感染性胃腸炎は多種多様な原因により引き起こりますが、冬季の主な原因はノロウイルスやロタウイルス等のウイルス感染であると言われています。主症状はおう吐、下痢、腹痛で、症状持続期間は1～2日と比較的短く、感染しても発症しない場合や軽い風邪のような症状の場合もあります。しかしながら、体力の弱い乳幼児や高齢者が感染すると、脱水症状を起こしたり、おう吐物を誤嚥することによる誤嚥性肺炎を引き起こすことがあります。

感染予防には、流水及び石けんによる手洗いが有効です。京都市では感染性胃腸炎の発生状況及び手洗いについて以下のホームページに紹介していますので、御参照ください。

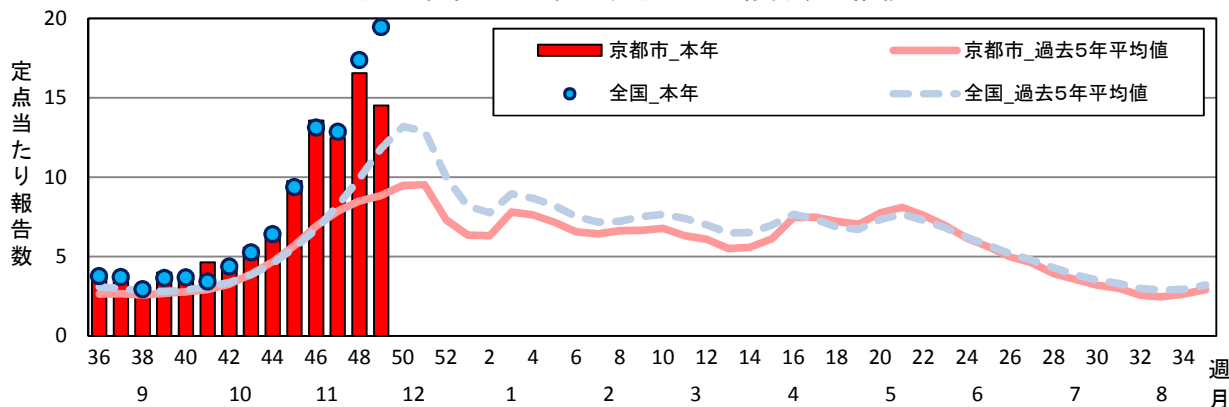
○京都市情報館「感染性胃腸炎に注意！」

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000046226.html>

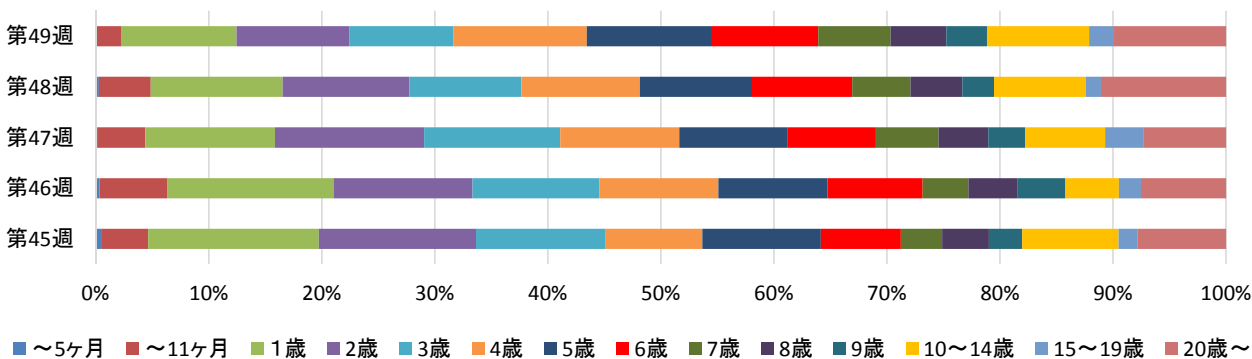
○京都市情報館「手洗いの方法について」

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/cmsfiles/contents/0000197/197526/tearai.pdf>

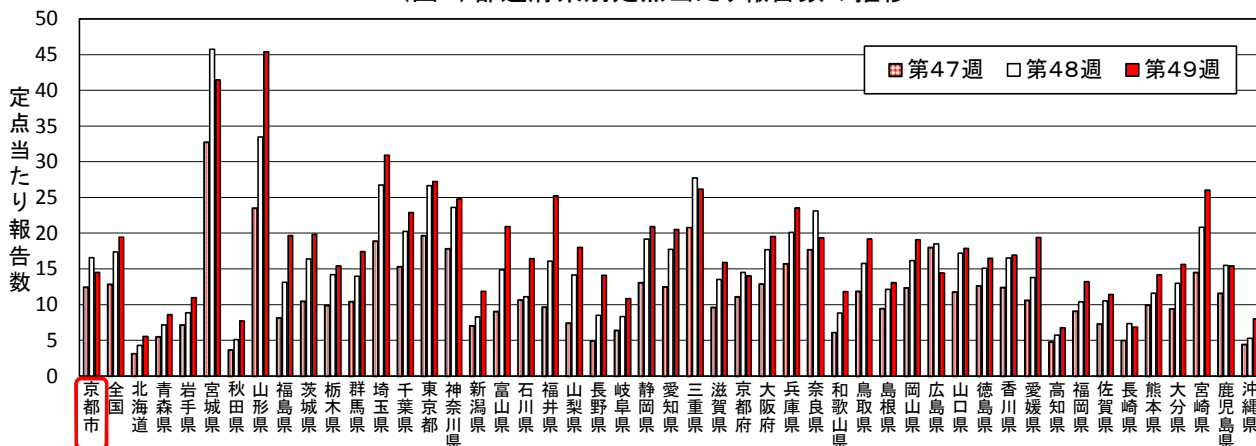
(図1)本市及び全国の定点当たり報告数の推移



(図2)本市の年齢階級別割合(第45週～第49週)



(図3)都道府県別定点当たり報告数の推移



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第49週

疾病,行政区別報告数

平成28年12月5日～平成28年12月11日

データ入手日:平成28年12月15日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	13	1	-	-	5	-	-	-	1	-	-	3	-	2						
上京	8	2	1	2	31	1	1	-	-	-	-	1	-	-						
左京	19	1	1	7	124	3	-	-	2	-	1	18	-	-						
中京	8	6	1	1	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	4	4	-	-	28	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	6	15	3	3	2	1	-	1	3	-	-	11	-	1						
下京	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1								
南	14	1	7	1	20	1	-	-	2	-	1	1								
右京	20	5	11	9	139	1	2	-	-	-	-	9	-	-						
伏見	23	4	9	4	136	-	2	1	3	-	-	10	-	-						
西京	16	1	1	9	107	1	-	-	-	-	-	4	-	-						
京都市計	132	40	34	36	610	8	5	2	11	-	2	58	-	3	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	1.86	0.25	-	-	1.25	-	-	-	0.25	-	-	0.75	-	2.00						
上京	1.60	0.67	0.33	0.67	10.33	0.33	0.33	-	-	-	-	0.33	-	-						
左京	2.71	0.25	0.25	1.75	31.00	0.75	-	-	0.50	-	0.25	4.50	-	-						
中京	1.60	2.00	0.33	0.33	5.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	1.33	2.00	-	-	14.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	0.86	3.75	0.75	0.75	0.50	0.25	-	0.25	0.75	-	-	2.75	-	1.00						
下京	0.33	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	0.50								
南	2.80	0.33	2.33	0.33	6.67	0.33	-	-	0.67	-	0.33	0.33								
右京	2.50	1.00	2.20	1.80	27.80	0.20	0.40	-	-	-	-	1.80	-	-						
伏見	2.09	0.57	1.29	0.57	19.43	-	0.29	0.14	0.43	-	-	1.43	-	-						
西京	2.00	0.20	0.20	1.80	21.40	0.20	-	-	-	-	-	0.80	-	-						
京都市計	1.91	0.95	0.81	0.86	14.52	0.19	0.12	0.05	0.26	-	0.05	1.38	-	0.30	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3202

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第49週

年齢階級, 疾病別報告数

平成28年12月5日～平成28年12月11日

データ入手日:平成28年12月15日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	132	-	1	4	4	5	4	4	7	2	7	8	19	11	14	8	15	6	4	4	5	
RSウイルス感染症	年齢3	40	11	4	11	10	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		34	-	2	4	8	7	4	4	1	1	1	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		36	-	-	-	2	2	6	6	6	3	2	1	6	-	2	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		610	-	14	62	61	56	72	67	58	39	30	22	55	13	61	-	-	-	-	-	-	-
水痘		8	-	-	1	1	2	-	2	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		5	-	-	-	2	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		2	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		11	-	5	4	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		2	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		58	-	-	2	6	2	5	10	10	4	7	1	5	-	6	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		年齢2	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	1.91	-	0.01	0.06	0.06	0.07	0.06	0.06	0.10	0.03	0.10	0.12	0.28	0.16	0.20	0.12	0.22	0.09	0.06	0.06	0.07
RSウイルス感染症	年齢3	0.95	0.26	0.10	0.26	0.24	0.05	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.81	-	0.05	0.10	0.19	0.17	0.10	0.10	0.02	0.02	-	-	-	-	0.05	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.86	-	-	-	0.05	0.05	0.14	0.14	0.14	0.07	0.05	0.02	0.14	-	0.05	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		14.52	-	0.33	1.48	1.45	1.33	1.71	1.60	1.38	0.93	0.71	0.52	1.31	0.31	1.45	-	-	-	-	-	-
水痘		0.19	-	-	0.02	0.02	0.05	-	0.05	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.12	-	-	-	0.05	0.05	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.05	-	-	-	-	0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.26	-	0.12	0.10	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.05	-	-	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		1.38	-	-	0.05	0.14	0.05	0.12	0.24	0.24	0.10	0.17	0.02	0.12	-	0.14	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		年齢2	0.30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	0.20	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌, 肺炎球菌, インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第49週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成28年12月15日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	9	24	37	43	101	132
RSウイルス感染症	37	42	38	29	26	40
咽頭結膜熱	13	13	26	36	45	34
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	23	36	44	38	38	36
感染性胃腸炎	262	410	570	523	695	610
水痘	7	4	6	23	13	8
手足口病	23	9	16	13	12	5
伝染性紅斑	1	2	2	2	1	2
突発性発しん	13	17	14	16	16	11
百日咳	1	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	9	4	13	4	12	2
流行性耳下腺炎	48	54	42	30	45	58
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	5	3	1	5	3	3
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	1	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	451	618	809	763	1,007	941

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	0.13	0.35	0.54	0.62	1.46	1.91
RSウイルス感染症	0.88	1.00	0.90	0.69	0.62	0.95
咽頭結膜熱	0.31	0.31	0.62	0.86	1.07	0.81
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.55	0.86	1.05	0.90	0.90	0.86
感染性胃腸炎	6.24	9.76	13.57	12.45	16.55	14.52
水痘	0.17	0.10	0.14	0.55	0.31	0.19
手足口病	0.55	0.21	0.38	0.31	0.29	0.12
伝染性紅斑	0.02	0.05	0.05	0.05	0.02	0.05
突発性発しん	0.31	0.40	0.33	0.38	0.38	0.26
百日咳	0.02	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	0.21	0.10	0.31	0.10	0.29	0.05
流行性耳下腺炎	1.14	1.29	1.00	0.71	1.07	1.38
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.50	0.30	0.10	0.50	0.30	0.30
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	1.00	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	11.04	14.72	18.99	19.12	23.26	21.40

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。